

情報公開文書

研究の名称	慢性子宮内膜炎治療後の自然妊娠例をふりかえり、子宮鏡検査を検討すべき不妊患者の臨床的背景を考察する。
研究機関の名称	富山県立中央病院
研究責任者	産婦人科 医長 草開 友理
研究の概要	<p>【研究対象者】 2021年3月1日から2023年6月30日の期間に、子宮鏡検査にて慢性子宮内膜炎を診断治療されその後自然妊娠された患者さんを対象とします。</p> <p>【研究の目的・意義】 慢性子宮内膜炎は反復着床不全や不育症の原因として昨今注目されており、子宮鏡検査で特徴的な所見を有します。従来生殖補助医療連続不成功の場合に診断治療がなされていましたが、体外受精再開を待たずして自然妊娠する症例が散見されております。慢性子宮内膜炎の治療のみで自然妊娠される患者さんの情報を整理することで、積極的に子宮鏡検査を検討すべき因子が見つかる可能性があります。それを周知することで、妊娠に至るまでの時間短縮や医療費軽減につなげることができます。</p> <p>【研究の方法】 富山県立中央病院で診療を受けた上記の対象患者さんの診療録情報を研究に用います。個人情報に漏洩しないよう、氏名やカルテ番号などは研究に用いません。本研究に参加する費用には、病院における診療費用以外に新たな費用負担はありません。</p> <p>【研究期間】 上記の期間の患者さんを対象とし、2023年9月末までにデータの解析を行う予定です。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	年齢、妊娠出産歴、流産手術歴、合併症、服薬歴、不妊期間、慢性子宮内膜炎治療から自然妊娠成立までの期間を研究に用いる予定です。 他機関への試料・情報の提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者名	情報を利用する期間：富山県立中央病院 施設責任者：産婦人科 医長 草開 友理
試料・情報の管理責任者	富山県立中央病院 産婦人科 医長 草開 友理
研究対象者・親族など関係者からの相談の対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用）を希望する場合の申し出および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話：076-424-1531（代表） 担当者：産婦人科 医長 草開 友理